



川島正寿議員

急げ財政マニフェスト

改革案8月以降

**問** 本町は、一段と少子高齢化となり、人口減少が予測される。全国的には景気回復基調にあるとはいえ、800兆円を超える国の借金のありで地方財政は好転どころか増々困窮の度を深めている。

地方交付税の大幅削減で財政力の弱い市町村で



は、第2の夕張を恐れる。我町も3年後には基金も底をつく。健全財政へ向け、中期の財政マニフェストを早期に作成し、町民に示されたい。

**答** (山口町長)

行財政改革大綱や集中プランを作成したところ

である。具体的な数値目標が、あまり示されていないと、議員・町民のみならず、さんより指摘を受けているが、改革プランの柱である住民との協働・連携、住民のニーズにあつた効果的対応、健全な財政運営の確保など全般にわたって具体的な作業をしている。

皆さんに示せるのは、本年8月以降になる。

新校舎になって

安心、安全な学校運営

**問** 名和小学校が統合されて2カ月が過ぎた。新しい環境での学校生活について4点問う。

(1) 先生・生徒・保護者相互の信頼関係は保たれているか。

(2) イジメは発生していないか。

(3) 新校舎で頭痛などがある。健康管理は十分か。

(4) 第2次教育改革との関連は。

**答** (山田教育長)

(1) 昨年東西に分かれて名目統合、本年四月に実質統合となった。

その間教職員と保護者が、体制づくりに取り組み、順調にスタートできた。学級活動や通学方法など変更になったが、良好な関係を土台に、信頼関係が深まるものと期待している。

(2) 交友関係で様々なレベルの摩擦やトラブルは起きているが、保護者と連携して、早期に対応する。

(3) 新校舎で頭痛・手の荒れがあるのは、化学物質のせいではと、学校薬剤

師と対応にあたった。また、町内各小学校で、毎朝、児童の健康状況をチェック、把握し、安心、安全な学校運営に努力している。



鳥取県産米

**問** 生ゴミのリサイクル(堆肥化)を大山ブランドの農作物へ利用し、観光大山のイメージアップにつなげては。

**答** (山口町長)

これから「大山恵みの里」づくり計画や、総合計画、新エネルギービジョン等で、循環型社会への対応を促進する。

**問** 阿弥陀川水系の米は新潟産米と同等に美味しいとの声がある。ブランド米としての取り組みは。

**答** (山口町長)

生産者、関係機関との連携、新設した「恵みの里公社」に認証機能を持たせるなど、取り組みを通してブランド化を検討する。